



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月2日

上場会社名 株式会社 フジミインコーポレーテッド 上場取引所 東 名  
 コード番号 5384 URL <http://www.fujimiinc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関 敬史  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鈴木 彰 TEL 052-503-8181  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	24,729	19.1	3,211	203.3	3,584	166.5	2,805	265.1
26年3月期第3四半期	20,765	△20.4	1,058	△74.8	1,345	△69.5	768	△72.1

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 4,120百万円 (146.1%) 26年3月期第3四半期 1,674百万円 (△49.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	108.67	—
26年3月期第3四半期	29.63	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	50,480	43,968	87.1	1,735.24
26年3月期	46,648	41,507	88.9	1,598.32

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 43,968百万円 26年3月期 41,458百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
27年3月期	—	15.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	16.4	3,400	161.4	3,700	141.0	3,000	275.3	116.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	29,699,500株	26年3月期	30,699,500株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	4,360,691株	26年3月期	4,760,651株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	25,818,827株	26年3月期3Q	25,939,063株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、先進国においては米国では景気回復基調が続きましたが、日本では経済成長の鈍化が見られ、欧州では景気後退の懸念が広がり、中国をはじめとする新興国においては、先行きへの不透明感が強まる状況でありました。

一方で世界半導体市場は、スマートフォンや車載関連需要の拡大などにより堅調に推移しました。このため、主力のシリコンウェハー市場につきましてもウェハー出荷が高い水準で推移しました。

こうした状況下、当社グループでは一丸となって売上拡大とコスト削減に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高24,729百万円（前年同期比19.1%増）、営業利益3,211百万円（前年同期比203.3%増）、経常利益3,584百万円（前年同期比166.5%増）、四半期純利益2,805百万円（前年同期比265.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本につきましては、堅調な半導体市場を背景としたシリコンウェハー向け製品の販売増加および一般工業用研磨材の販売増加などにより、売上高は13,821百万円（前年同期比13.0%増）、セグメント利益（営業利益）は売上増加に加え製品構成の良化により2,709百万円（前年同期比36.1%増）となりました。

北米につきましては、売上高は3,466百万円（前年同期比6.6%増）、セグメント利益（営業利益）は為替の影響およびグループ内の知的財産管理再編の影響により385百万円（前年同期比194.3%増）となりました。

アジアにつきましては、最先端ロジックデバイス向けCMP製品およびアルミディスク向け製品の販売が増加したことから、売上高は6,256百万円（前年同期比53.1%増）、セグメント利益（営業利益）は1,044百万円（前年同期はセグメント損失85百万円）となりました。

欧州につきましては、売上高は1,184百万円（前年同期比0.7%減）となりましたが、セグメント利益（営業利益）は為替の影響などにより72百万円（前年同期比25.5%増）となりました。

主な用途別売上の実績は、次のとおりであります。

シリコンウェハー向け製品につきましては、半導体市場の需要増加の影響を受け、ラッピング材の売上高は2,480百万円（前年同期比11.7%増）、ポリシング材の売上高は4,414百万円（前年同期比9.9%増）となりました。

CMP向け製品につきましては、アジア市場で最先端ロジックデバイス向け製品の販売が好調であったことから、売上高は7,444百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

ハードディスク向け製品につきましては、アルミディスク向け製品で当社シェア拡大もあり売上高は2,520百万円（前年同期比31.9%増）となりました。

非半導体関連の一般工業用研磨材につきましては、売上高は6,141百万円（前年同期比24.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ、3,832百万円増加し、50,480百万円となりました。これは、現金及び預金が3,735百万円、受取手形及び売掛金が1,393百万円増加したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ、1,371百万円増加し、6,512百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が655百万円、未払法人税等が471百万円増加したこと等によるものです。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ、2,461百万円増加し、43,968百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が1,242百万円、利益剰余金が894百万円増加したこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、半導体市場全体が当社グループの想定を超え好調に推移したことから、連結業績は予想を上回る結果となりました。最近の業績動向を踏まえ、平成26年10月17日に公表した平成27年3月期の通期業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日付で別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動もありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用しております。

退職給付会計基準等の適用に伴い、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を見直し、平均残存勤務期間に対応する単一の債券利回りを基礎として決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が107百万円減少し、利益剰余金が69百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,709	16,445
受取手形及び売掛金	5,780	7,174
有価証券	5,106	4,805
商品及び製品	2,721	2,876
仕掛品	894	852
原材料及び貯蔵品	1,491	1,508
繰延税金資産	393	399
その他	825	161
貸倒引当金	△25	△31
流動資産合計	29,898	34,191
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,779	7,961
その他(純額)	6,791	6,416
有形固定資産合計	14,570	14,377
無形固定資産	593	707
投資その他の資産		
投資有価証券	126	214
繰延税金資産	176	172
その他	1,515	1,049
貸倒引当金	△232	△232
投資その他の資産合計	1,586	1,204
固定資産合計	16,750	16,289
資産合計	46,648	50,480

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,713	3,368
未払法人税等	56	527
賞与引当金	554	359
役員賞与引当金	—	49
その他	1,389	1,864
流動負債合計	4,713	6,168
固定負債		
繰延税金負債	13	14
退職給付に係る負債	389	307
その他	23	21
固定負債合計	427	343
負債合計	5,140	6,512
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	5,069	5,038
利益剰余金	37,052	37,946
自己株式	△5,711	△5,379
株主資本合計	41,163	42,358
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48	107
為替換算調整勘定	340	1,582
退職給付に係る調整累計額	△93	△79
その他の包括利益累計額合計	295	1,610
新株予約権	48	—
純資産合計	41,507	43,968
負債純資産合計	46,648	50,480

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	20,765	24,729
売上原価	13,867	15,000
売上総利益	6,897	9,728
販売費及び一般管理費	5,839	6,517
営業利益	1,058	3,211
営業外収益		
受取利息	52	38
為替差益	221	273
その他	52	83
営業外収益合計	326	395
営業外費用		
減価償却費	8	5
固定資産除売却損	30	15
その他	0	0
営業外費用合計	39	22
経常利益	1,345	3,584
特別利益		
新株予約権戻入益	2	48
特別利益合計	2	48
税金等調整前四半期純利益	1,347	3,633
法人税、住民税及び事業税	313	881
法人税等調整額	265	△54
法人税等合計	579	827
少数株主損益調整前四半期純利益	768	2,805
四半期純利益	768	2,805



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	768	2,805
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	58
為替換算調整勘定	894	1,242
退職給付に係る調整額	—	13
その他の包括利益合計	905	1,315
四半期包括利益	1,674	4,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,674	4,120

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年11月4日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を1,000,000株を上限として取得することを決議し、自己株式600,000株を取得しました。この結果、自己株式が901百万円増加しております。

また、同取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式1,000,000株を消却することを決議し、消却しました。この結果、資本剰余金が31百万円、利益剰余金が1,202百万円、自己株式が1,233百万円それぞれ減少しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末における資本剰余金は5,038百万円、利益剰余金は37,946百万円、自己株式は5,379百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	12,231	3,253	4,087	1,192	20,765	—	20,765
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,798	831	95	—	4,725	△4,725	—
計	16,030	4,084	4,182	1,192	25,490	△4,725	20,765
セグメント利益又は 損失(△)	1,990	130	△85	58	2,094	△1,035	1,058

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,035百万円は、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△969百万円及び棚卸資産の調整額△71百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	13,821	3,466	6,256	1,184	24,729	—	24,729
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,481	796	124	—	5,402	△5,402	—
計	18,302	4,263	6,380	1,184	30,131	△5,402	24,729
セグメント利益	2,709	385	1,044	72	4,212	△1,000	3,211

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,000百万円は、セグメント間取引消去199百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,104百万円及び棚卸資産の調整額△95百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「アジア」セグメントにおいて、最先端ロジックデバイス向けCMP製品およびアルミディスク向け製品の販売が増加した結果、前連結会計年度末に比べ、当第3四半期連結会計期間末の同報告セグメントの資産の金額は、2,143百万円増加しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。